

- 消防団初午祭から……………2
- 赤十字奉仕団研修会から……………3
- 村長視察記◎……………4
- 婦人会へ感謝状/せんりゆう北緯41' ……5
- 年金係より……………6
- 談話室/行事予定……………7
- けっばる蓬田人/戸籍の窓口……………8

広報

よもぎた



雪の中を歩くって気持ちいいんですよ!

3月
1991

押へても
ふくるる籠の蓬かな
実花

二月十六日、とてつもない
風が吹いた。
あれでは、春の嵐だ。
朝から風が強かったが、昼
近くなって益々風雪が強くな
り、役場の電話が一段と激し
く鳴り出した。

内容は「小屋の屋根が国道
に飛んで：」「松が線路に倒
れた」「屋根がはげた」「看
板がなくなつた」と色々だ。
今まで、風が吹いたからと言
つてこんなに電話が鳴つたこ
とはなかった。

この冬が暖冬小雪だったか
ら、思わぬしつべがえした。
もちろん消防団は出動した
し、役場も厳戒体制に入つた
が、幸いなことに夕方には落
ち着いてホツとした。

今、世界には湾岸風という
猛烈な風が吹いているが、も
うここまで来たわけではな
いだろう。

決意を新たに勇ましく！

村消防団初午祭実施される

二月五日（火）新年に向けて団員の志気を高め、決意を新たにするため村消防団（坂本秀行団長、団員百九十七名）の初午祭が実施されました。

二月五日（火）新年に向けて団員の志気を高め、決意を新たにするため村消防団（坂本秀行団長、団員百九十七名）の初午祭が実施されました。団員は、午前七時三十分のサイレンの合図とともに村内八分団から、団長以下百五十名とポンプ車が出動しました。



さつ、津島村議会議長、蟹田警察署長より祝辞をいただき、最後にポンプ車の村内パレード、団員が毎戸訪問して防火を呼びかけて初午祭を無事終えました。

日ごろの心がけで 火災予防！

3月1日～7日まで
「春の全国火災予防運動」

火種が布団に落ち、火災になるのが最も多いケースです。寝たばこは、絶対やめてください。

また、路上でのたばこの投げ捨てでも火災の原因になりやすいので、灰皿がない場所での喫煙はやめましょう。

②子供には、マッチやライターで遊ばせない

③風の強いときは、たき火をしない

④天ぷらを揚げるときは、その場を離れない

⑤ストーブには、燃えやすいものを近づけない

①寝たばこや、たばこの投げ捨てはしない



カーテンや寝具などのそばに、ストーブを近づけてはいませんか。これからは、燃えやすく危険です。ストーブを離しておきましょう。

また、ストーブの上に洗濯物を干すのも危険ですのでやめましょう。

これらの五つのポイントを確認し、家族で一人一人が実践するようにしましょう。

さらに、旅館・ホテルを利用する場合は、「適マーク」の有無を選択の目安としても忘れないうください。

交通災害共済に！！

家族そろって
加入しましょう。

- 会費は、一年間で一人350円です。
- 加入申し込みは、役場総務課までどうぞ！

引き続き役場前では、団員が機械・器具を点検し、異常がないことを報告しました。

この後、越田副団長から、大地をしっかりと踏みしめた分列行進はとも良かった。特に、第五分団は良かった。全体的には優良であった」と講評を受け、坂本団長から「初午は我々団員一人一人の知識の高揚と団員の親睦を深め、地域住民の防火意識を高めるためのものである。今後も団員のますますの精進を期待する」と訓示を受けました。

冬から春先にかけてが、一年を通じて火災が最も多いのをご存じですか。この時期は空気が乾燥し、強風が続くなど、火災が発生しやすい条件がそろっています。それだけに、ちよつとした火への不注意が、大きな火災につながります。

奉仕の心を大切に！

蓬田村・今別町赤十字奉仕団合同研修会



「つくして求めず」が奉仕の心…

二月十二日（火）村中央公民館において、村赤十字奉仕団（二唐美代子委員長）と今別町（大谷妙子委員長）赤十字奉仕団の合同研修会に約五十名が参加して開催されました。

午前十時から始まった開会行事では、参加者全員で「赤十字の旗」を斉唱、「赤十字奉仕団員の信条」を唱和した後、二唐委員長より「中山荘老人ホームが出来てからオムツ寄贈等の奉仕活動が続けて来ました。中山荘での活動が我々奉仕団に奉仕の心を教えてくれました」と挨拶。大谷

委員長の挨拶と続きました。

来賓の坂本昭巳助役より「人はお互い出合いが大切です。石川県知事の信条で、つくして求めずという言葉があります。これがほんとうの奉仕の心ではないでしょうか。今日一日、相互の意見交換をして実のある研修会にして下さい」と、日本赤十字社青森県支部を代表して渋谷安正事業課長より祝辞をいただきました。

引き続き、両奉仕団の団員が一人づつ紹介された後、二町村の活動状況が報告されました。

また、坂本枝子（長科）さんが「血液センターを見学した際、今まで貧血ぎみや、血管が細く、血が薄いという理由で献血できなかったが、センターで産まれて初めての献血が出来た。とてもうれしかった」と貴重な体験発表がありました。

今別町からは田中ミチさんが、地域での奉仕活動の現状を発表してくれました。

昼食後、「問題点と対策について」全員で話し合い実のある、研修会を閉じました。

第43回婦人週間

青森県婦人会議へどうぞ!!

労働省では、我が国の女性が初めて参政権を行使した4月10日から一週間を婦人週間として、毎年婦人の地位向上のために啓発活動を全国的に実施しております。

本年は、女性、男性を問わず各個人が個性を發揮し、のびやかに暮らすことのできる社会の実現を目指し、青森県婦人会議が下記日程において開催されますので気軽にご参加下さい。

- とき 平成3年4月18日(木)12時45分～15時45分
- ところ 青森市文化会館
- 記念講演 『しなやかに個性 のびやかに女と男』（仮題）
- 講師 毎日新聞論説委員 増田 れい子 氏

- シンポジウム
テーマ『性にとらわれず いきいきと暮らせる時代を築こう』
- 参加者 どなたでも（男女年齢を問わず）
- 入場料 無料
- 問い合わせ先 青森県婦人少年室 ☎0177-35-1033

所得税の申告と納税は

三月十五日まで

青森税務署

平成二年分の所得税の申告と納税はもうお済みでしょうか。申告も納税も期限は三月十五日です。

なお、個人事業者の消費税の申告と納税は四月一日までです。お間違えのないように。

申告をしなければならぬ

人が申告しなかったり、誤って少なく申告したりしますと、後で不足の税金を納めるだけでなく、加算税や延滞税を納めなければならぬことになります。

北欧五ヶ国視察記 ⑨

村長 八戸 良次郎

北欧は老人の天国か。(その一)

国際的には六十五歳以上の人口を老年人口と呼び、この老年人口が七・八%を越えた社会を長寿社会と呼んでいる。

ところが我が国においては、二〇二五年(平成三十七年)

にこの比率が二十三%(昭和六十年は十三%)と倍増し、世界で最も高齢化が進んだ国になる見込みである。しかもあと十年も経てば痴索性老人が百十三万人に達し、寝たきり老人も百二万人になると予測されている。人生八十年時代を迎えた今日、誰もが長生きし、そして誰もが寝たきりの状態になる可能性があることをこの数値は示している。

現代工業社会の発展は入口を都会に集中させ過疎、過密をもたらし、その過程で今度はいこうした深刻な老人問題を生み出している。しかもそうした政策を推進した仕事一途のエリート層も、その繁栄を支えた企業戦士達も平等にその渦の中に巻き込まれようとしているから皮肉である。

急速な産業経済の進歩発展は色々な歪みを生じさせることは過去の歴史が証明しているところだが、然し老人問題は特に根が深く難しいものがある。だからこそ之からの福祉を考える場合、単に経済的な視点から「やれる」「やれない」という論議でなく、二十世紀の高齢社会をいかにして人間的な社会として再構築していくか、その理念を厳しく問い直す必要があると思う。

今回の北欧五ヶ国の視察旅行のねらいもそこにあつた。然し世界の最先進国といわれ北欧でさえその理念が揺らぎはじめている。所得率はその国によって若干の違いはあるが四十%から六十八%、附加価値税(日本の消費税)は十八%から二十二%と福祉に対する国民の税負担は物凄く高くなっている。だが「働らけなくなつた」時の自分の老後を考えると、その制度を支える税金は重くても仕方ないと寂しく語つてくれた。それ

だけに収容施設は立派であり、環境もサービスマン、抜群であるが、ただ野外の労働施設は殆んど見られず隔離施設化しているような印象を強くした。スウェーデンでは六十七歳で停年を迎え、月に最低四万二千クローネ(日本円で九万二千円)の年金が支給されるから他に収入がなくても施設に入ることができると、クングスゲルデット老人病院のメリケル博士は、この病院に入院している老人の八十%は緊急入院してきた老人ばかりであり、入院したくても入院できないで待つている老人が随分多くなつていと説明していた。つまり増え続ける高齢者に対して収容施設が追いつけないのが現状である。



施設を増やすのも税負担は最早や限界だという。そこで打ち出されたのが収容ケアか在宅ケアへの政策転換であり、重症者でも家庭に帰そうとしていく。表向きは在宅事情も食糧事情もよくなつており、老人の八十五%が住み慣れた家で暮らしたいと希望しているからだと言っているが、然しこの国では十八歳になると子供は家を出て独立してしまふので、家に帰つても家族がいらないのも同然であり誰が介護するのだろうか、ホームヘルパーを増せば費用が多くかかり人手不足も懸念されたいという。この国にとつて家庭ケアは本当に解決になり得るのだろうか、どうも国の財政負担を軽減するための方策としか私にはうづらなかつた。

北欧五ヶ国による「孤独に関する各年代別研究」の共同調査でも、全体の半数の人が孤独を感じており、特に四十歳代が最も多く、三十歳代でも四十%の人がとても自分は孤独だと思つているという結果が出ています。

施設に入つている痴索性老人のうつろな目とやせ衰えたあの姿のどこに老人の天国があるのだろうか、ある人はこの病気になるた本人はすごく幸せなんだ、昨日もなくて明日を考へることもない病氣だからと擲論していたが、福祉の先進国といわれ、福祉の行き届いた北欧の国々でさえ、今の老人の貧困化が一層深刻の度を増し、国の財政悪化と共に今大きく様変わりしようとしている。

わが国においても高齢化社会時代における福祉サービスの対策として編み出されたといわれる消費税も老後のビジョンを示されないうまま、財源対策だけが先行した為国民の反発を買つているが、その廃止を求める陣営も、単に自民党の公約違反を追及する為だけなのか、それとも大型間接税の導入そのものに反対なのか定かでない。

そして、それを受けて検討している自民党の見直し論もその目的と意味と効果が明確に出てこないまま、議論の局限化、矮小化だけのやりとりで終止している嫌いがある。

なぜ消費税でなければならぬのか、長寿国世界一である日本の高齢化社会に、どう対処しようとするのか、その実像とビジョンを明らかにしてその上に立つて税制や財政を論じるべきではないかと思う。その為には当面消費税の実施を凍結する位の気持ちで政党間にあつてもよいのではないだろうか。

長年、駅構内の 美化活動ありがとう！

JRより村連合婦人会へ感謝状

二月四日(月)役場村長室において、「長年にわたりJR蓬田駅の環境美化に奉仕され旅客サービスの向上に多大な貢献をされたことに感謝します」と東日本旅客鉄道株式会社牧野慧盛岡支社長、代理



小野達雄蓬田駅長より村連合婦人会(二唐美代子会長)へ感謝状と記念品の伝達が行われました。
婦人会では十年前より、もともと草むらだつた蓬田駅構内に四季折々の花を植えたりして、村を訪れる人や車窓から色とりどりの花を楽しんでもらおうとまた、昨年は駅構内に村の花「ハマナス」を植えて美化活動をして来ました。おめでとうございます。

・百選を
・妻母の
・小冊子
・八選句
師弟で祝う 松の内
月日かさねた 百句集
愛と笑いと 百句載せ
集めて勝子の 歩み見る

森勝
光子
勇三
昭夫

・目に浮ぶ
・川柳の
・佳句ならば
・川柳の
ドラマ模様の 百句集
勝子で萌える 友集い
思わず唸る 百句集
深さを祝う 百選句

節子
重彦
お富
増吉

川柳のコーナーも早
いもので今回で、12回
目を数えました。
皆様のご応募をお待
ちしています。

今年の子定は次のとおりと
なっています。
○訪問国 中華人民共和国
大韓民国
○実施時期
平成3年9月8日(日)
同年9月21日(土)
○使用船 新さくら丸
(一七、三八九トン)



出会いを求めて！ 参加者募集

今年9月に予定
県では、青年の自己啓発と友情と連帯感を養い、国際的視野を拓けようと今年も「青森県青年の船」を出航させることになりました。
この船は、2年に一回行われており、本村では、これまでに9名の方々が参加しております。
参加したい方へ
県全体では、三五〇人ですが、蓬田村には3名の割り当てがありました。そのほかは次のようになっています。
◎年令 概ね30才まで
◎負担金 十五万八千円
申込と詳しいことを知りたい方は、3月末日まで役場内社会教育課へご連絡下さい。

第四回「青森県青年の船」

国保運営委員を
紹介します。

- 会長 繁春(阿弥陀川)
- 会長代理者 川嶋善勝(中沢)
- 委員 坂本豊(中沢)
- 稲葉武(高根)
- 越田幸一(瀬辺地)
- 中川八千雄(郷沢)
- 大沢保(郷沢)
- 田中智子(蓬田)

おわび
広報二月号(一九七号)で四ページに要望3として、山館瀬辺地部落長より「田浦と大川目を結ぶ連絡道路を舗装してほしい。」とありますが、「田浦と大川目を結ぶ道路を造ってほしい。」の間違いでした。訂正します。

20歳になったら…

国民年金に加入しましょう!

祝 成人式



昨年8月の成人式

**20歳になったら
学生の方も国民年金に
加入しましょう!**

国民年金には、二十歳から六十歳までのすべての方が加入しますが、大学生等の学生は現在、任意加入となっております。

このため、二十歳以後に障害者となった場合、任意加入していなければ障害基礎年金が支給されません。

また、老齢基礎年金は、二十歳から六十歳までの四十年間の加入で満額の年金が受けられるため、大学を卒業してから六十歳になるまで加入しても満額となるための期間を満たすことができせん。

このようなことから、平成三年四月からは、二十歳以上の学生も国民年金に必ず加入することになります。

なお、保険料は、第一号被保険者として、自分で納めなければなりません。学生本人と親元の所得が一定基準以下であれば、保険料の免除を受けることができます。

**国民年金の保険料が
四月から変わります**

人口の高齢化が進む中、年金制度を健全に運営していくためには、年金給付とバランスを保ちながら適正な負担をしていただくことが必要となります。

このため、四月分から保険料が月額九、〇〇〇円となります。

老齢基礎年金などの年金の支払いに必要な財源は、あなたが納めた保険料と国の負担で賄われています。

また、年金額はそのとき、そのときの物価に見合うよう完全自動物価スライド制により、引き上げられることになっていきます。

このような「かけがえのない財産」である「年金」の価値は、豊かな老後を過ごせるよう国が責任をもって保障するしくみになっています。

どうか、保険料の変更について、ご理解とご協力をお願いします。

**国民年金保険料を
納めましょう**

三月です。年度末となりまして。

国民年金の保険料は、未納のまま二年を過ぎると時効に

より納めることができなくなります。

四月になると新年度分の納付書が発行され、溜めると納めることができますが、困難になると思われます。

未納期間があると、老齢基礎年金が低額となったり、最悪の場合には受けられないこととなります。また、万一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられないということにもなりかねません。

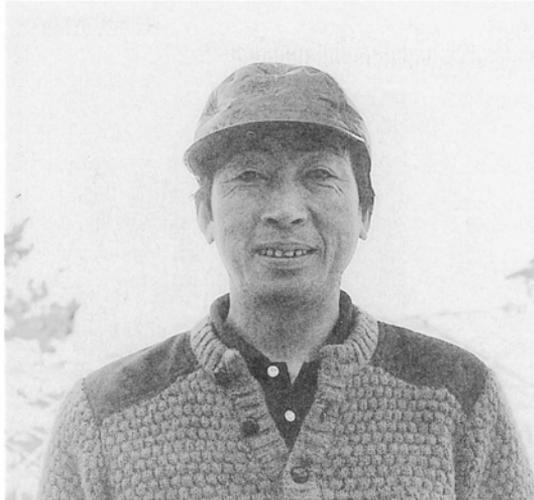
国民年金保険料を完納し、満額の老齢基礎年金を確保して人生八十年時代に備えるようにして下さい。

◆詳しいことは、役場民生課年金係にお尋ね下さい。

☎二七—二一一

3月の土曜閉庁日は 9日と23日です。

ただし中央公民館、幼稚園、保育所、児童館はこれまでどおりです。



No.37

かんぱる

佐藤 信彦さん
長科



談話室

除雪作業はまかせて!

今回は、村除雪作業隊員として四年前から、村民の生活道路確保に頑張っている佐藤信彦(長科)さんに取材しました。

佐藤さんの仕事は、我々村民が熟睡している午前二時から始まりです。出勤してすぐ機械の始業点検を行った後、各部落の裏通りの除雪・農免道路・牧場への道路へと作業が進みます。

「夜中から朝まで特殊勤務のため睡眠は昼間にとらなくてはなりません。なかなか眠れない時は、睡眠薬(アルコール)を一杯飲むとすぐ眠れる」と話してくれました。

また、排雪作業の時は眠る時間もなく、夕方の五時まで勤務は続き体にムチ打って作業を進めます。

「除雪して一番困るのは、道路にはみ出している一般家庭の松の枝等、とても作業しにくいので、剪定してくれたらありがたい。」と本音をポロリ。

また、「一般家庭の前にはなるべく雪を置いていかないように作業するのですが、除雪が入る前に雪片付けをしている家庭があるので、そんな家の方には申し訳ない」と一言。

今の時期、いつ大雪が降るとも限らないので、常に二十四時間体制で、寝ても覚めても雪のことがかりが頭の中を散らつたのです。

もともと機械に乗るのが好きで、今の仕事がぴったりの佐藤信彦さんですが、中学一年の長女と小学四一年の息子の親としても生活道路確保に除排雪作業に今日も頑張る。



みくづけた

37

昔はどこ家庭でも造った、繭玉を見つけてきました。

水木「ミズキ科」という木に、色の付いた餅や折り紙を飾り、豊作祈願するというこの風習は、1月15日(小正月)に行われたそうです。

先日、村児童館で近所の子供達を集めて作業が行われ、とても綺麗な繭玉が出来上がりました。

児童館に展示してありますので、一度ご覧下さい。

3月行事予定

日	行	事	担
5	新入学児童一日入学		蓬田小学校
5	ワープロ教室18:30	(村中央公民館)	村中央公民館
6	ゲートボール教室19:00	(村農業者トレーニングセンター)	村中央公民館
12	ワープロ教室18:30	(村中央公民館)	村中央公民館
13	ゲートボール教室19:00	(村農業者トレーニングセンター)	村中央公民館
16	卒業式		蓬田中学校
19	ワープロ教室18:30	(村中央公民館)	村中央公民館
20	ゲートボール教室19:00	(村農業者トレーニングセンター)	村中央公民館
25	卒業参観日		蓬田中学校
26	卒業式		蓬田小学校
27	ワープロ教室18:30	(村中央公民館)	村中央公民館
	ゲートボール教室19:00	(村農業者トレーニングセンター)	村中央公民館

けいはる蓬田人 ⑧

ふるさとを遠くへあらい

東日本旅客鉄道(株)盛岡支社
総務部経理課 佐井俊光さん



長女が保育所で一年お世話になるまで過ごしておりますので、今回の寄稿の話があり蓬田村を離れて九年の歳月が流れたのに、はなはだびっくりしております。

子供達は思うぞんぶん遊んで帰って来ます。私は、今、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社総務部経理課で、主に駅での切符の売上げの集計を担当しております。

最近では、旅行センターで旅館券、ホテル券、レンタカー券、航空券も発売しますのでそれらの集計も含めて夜遅くまで仕事することが多いですが、母子家庭にならないよう週末には家族いっしょに食事するようにとめております。

昭和四十五年高校卒業と同時に三厩駅へ赴任し、仕事以外に自炊生活で過ごした六年間は、厳しかった想い出とともに人生の大きなスタートでありました。

昭和五十一年に、幸い青森駅へ転勤が決まり、広瀬の実家から通勤しました。その後結婚、子供二人にも恵まれて

窓の外には若手山がそびえ、四季おりおりの色どりをつけるたびに故郷蓬田村を思い出します。また、帰省するたびに蓬田村の海を見るとほっとし、

これからも健康に気をつけて頑張っていきたいと思っております。



めも

▶現住所/岩手県盛岡市厨川4丁目七番地 JR アパート1-406/☎0196(41)2056 ▶生年月日/昭和26年5月2日 ▶出身/広瀬/佐井正一氏長男 ▶家族構成/妻・喜代子・長女・まゆ子・二女・妙子 ▶好きなもの/音楽鑑賞・読書 ▶経歴/青森県立青森商業高等学校卒業(昭和45年)日本国有鉄道入社(昭和45年)東日本旅客鉄道株式会社(昭和62年~現在に至る)

戸籍の窓



人口と世帯数

(1月31日現在)

総人口 4,181人
男 2,014人
女 2,167人
世帯数 1,052世帯

1月受付分

お誕生おめでとうございます

- | | | |
|--------|-----------|----|
| 村上 広大 | (誠 詔 優美子) | 長男 |
| 柿崎 英梨子 | (真 人 みや子) | 長女 |
| 柿崎 衣里加 | (忠 雄 稲子) | 長女 |
| 和田 ゆきの | (正 道 ひとみ) | 長女 |
| 和田 あかり | (正 道 ひとみ) | 2女 |
| 山館 清哉 | (清 仁 博子) | 長男 |
| 高木 麻希 | (由 夫 睦子) | 2女 |
| 福井 公太 | (等 子) | 2男 |
| 張山 博史 | (陽 一 英子) | 2男 |
| 山館 葉 | (康 千 鶴子) | 長女 |
| 宮田 啓太 | (輝 幸 玲子) | 2男 |

ご結婚おめでとうございます

- (山 口 幸 仁 (青森市)
久 慈 るみ子 (瀬辺地)
砂 田 正 則 (広島県)
青 木 昭 子 (阿弥陀川)

おくやみ申し上げます

- 高坂 トシ(瀬辺地 76歳)
田中勝太郎(広瀬 89歳)